

# ご連絡

日中科学技术交流協会事務局

107

東京都港区赤坂四丁目三番三〇号

横川ビル 日中協会内

電話(〇三)五八五―八七一〇

## 周培源副院長を団長とする

### 中国科学院訪日代表団を招請

#### 第五回常任理事会

協会は、第三、四、五回常任理事会を五月十日、六月八日、三十日と三回にわたって開催し、中国科学院訪日代表団招請について審議、その間有山会長、田村常任理事が符浩大使と会談を行った。

第五回常任理事会はこれまでの経過と中国側との意見交換の結果を検討の上、昨年十二月十七日設立総会で提案されていた中国科学院訪日代表団を次の要領により招請することに決定した。

- 1 日中科学技术交流協会は周培源副院長、中華人民共和国科学技术協会主席代理、北京大学校長を団長とする中国科学院訪日代表団を九月十日前後から約二週間招請する。
- 2 協会は訪日代表団とのあいだで、今後

における日中両国間の科学技术交流にかかわる諸問題についてよく話し合うことを希望する。

- 3 協会は訪日代表団の目的が充分達するために出来る限り努力する。
- 4 日中経済協会、日本国際貿易促進協会

- 5 日中文化交流協会、日中友好協会等日中関係団体及訪日代表団に関連する政府官庁・学術団体に協力をお願いする。
- 6 招請状に対する中国科学院からの返事により準備に入る。
- 7 財政は別項の宇宙科学博覧会中国参観団とあわせて、目下進めている賛助会員募集を一層強化してまかなう。

- 8 具体的実務担当としては田村、野上常任理事があたる。

中国科学院訪日代表団の招請は協会がはじめて本格的にとりくむ仕事であり、会員各位によく理解してもらい全体の協力によって成功させる。

(招請状は以上のことにもとづき七月三日、中国科学院副院長方毅氏にお送りした)

その他、常任理事会は、新入会者、賛助会員入会、日中科学技术交流(訪中、訪日、資料交換)の斡旋、第一回幹事会等の報告を受け次のことを審議した。

宇宙科学博覧会に中国参観団を招くことを決めた。

新たに常任理事に杉二郎氏が就任した。杉氏は第二回常任理事会で満場一致で推選された。

宇宙博中国参観団担当に近藤次郎常任理事を選出した。

第一期決算報告、第二期暫定予算を承認した。

第三、四、五回常任理事会出席者  
有山兼孝会長、越智勇一、奥田東、鹿取一男、茅誠司、近藤次郎、杉二郎、田村三郎、朝永振一郎、野上茂吉郎、橋口隆吉、和達清夫の各常任理事

井上春成監事

小川智哉、鈴木昭憲、相馬胤和の各幹事

田中脩二郎、村瀬武士の各参与、漆戸噉事務局長

## 郭沫若中国科学院院長逝去

郭沫若中国科学院院長(中国共産党中央委員・中国全国人民代表大会常務委員会副委員長・中国人民政治協商會議全國委員會副主席・中国文学芸術界連合会主席・中日友好協会名誉会長)は一九七八年六月十二日午後四時五十分北京で逝去された。享年八十六才

郭沫若院長の追悼大会は六月十八日午後、北京で厳かに執り行われた。

協会は弔電と弔花を贈った。

六月三十日の第五回常任理事会は冒頭、郭沫若院長のご冥福を祈り、黙悼を捧げた。

弔電 中国科学院御中

郭沫若院長が北京でご逝去された報に接し謹んで哀悼の意を表します。

郭沫若院長が長い生涯にわたり日中兩國国民の友好、学術の交流、科学の進歩と世界の平和のためになされた偉大な輝かしい業績は永遠に生きつづけるものがあります。

日中科学技術交流協会

郭沫若先生の遺骨は遺言によって大塚の土地にまかれることになる。

日本では七月十二日、郭沫若先生を偲ぶ会が実行委員会によって開催されるが、この会で有山会長が偲ぶ言葉を述べる。

## 宇宙科学博覧会に中国から参観団

——当協会の招きで30名来日の予定——

宇宙科学博覧会(茅誠司理事長)は「宇宙——人類の夢と希望」をテーマに七月十六日から来年一月十五日まで東京・江東区で行われるが、中国宇宙学会は当協会の招きにより三十名からなる参観団を七月下旬より約四十日間、派遣を予定している。

同参観団は宇宙博参観と同時に、東京大学宇宙航空研究所、内之浦、種子島、関連産業等日本の宇宙航空関係者、部門との交流も希望している。

中国宇宙学会は全国科学会議と相前後して作られた新しい学会であり、我が国に中国の宇宙航空関係科学・技術者が大挙して来訪するのは始めてのことであり、丁度七月四日から訪中のアメリカ政府科学技術代表団(团长フランク・プレス大統領科学技術顧問)の中にフロッシュ航空宇宙局(NASA)局長も含まれていることもあって、今回の中国参観団来日を契機にして、日中そして米にも関連した宇宙航空科学技術交流が口火を切ると共に一段と発展することが期待される。

## 中国科学院の招聘で今夏七教授・研究者が訪中集中講義

中国科学院からの要請により当協会が幹旋し七名の教授、研究者の方々が訪中し集中講義を行う。これは北京、上海などの一ヶ所です十日から三週間の間、中国の専門家に講義をしそのメンバーと学術的に深い交流を行うものである。

訪中する教授、研究者は次の方々

海野和三郎・東京大学理学部・太陽物理

海部宣男・東京大学天文台・射電天文

香川靖雄・自治医科大学・分子生物学

神戸博太郎・東京大学宇宙航空研究所・熱

化学

古在由秀・東京大学東京天文台・天体力学

高木幹雄・東京大学生産技術研究所・パタ

ーン情報処理

弓 滋・水沢緯度観測所・天体測量

## 日本で行われる今年下半年七国際会議に中国が代表団を派遣

薄膜厚膜表面国際会議

期 日 七月五日から八日

開催場所 都市センターホール

主催 I・C・S・F・S委員会

組織委員長 上田隆三 早稲田大学教授

中国代表团名簿

团长 林蘭英 中国科学院半导体研究所

副团长 林金庭 南京固体デバイス研究所

副团长 林金庭 南京固体デバイス研究所

技師長

团员 宋へい治 河北半导体研究所

彭瑞伍 上海冶金研究所

江福来 河北半导体研究所

孔梅影 中国科学院半导体研究所

羅宋鉄 吉林物理所

程其群 南京固体デバイス研究所

芦雲洋 河北半导体研究所

募金委員長 朝永良夫 機械振興協会副会長

議長 植村恒義 東京大学教授

中国代表团名簿

团长 龔祖同 中国科学院西安光機所所長、研究員

团员 侯洵 同所所員、研究員補佐

李景鎮

吳経雄

許家隆

田清政

包正康 浙江大学光学儀器系講師

発表論文題目

龔祖同 APPLICATION OF GRIN FIBRE TO HIGH SPEED RASTER PHOTOGRAPHY.

李景鎮 AN ULTRA-HIGH SPEED STREAK CAMERA

田清政 APPLICATION OF LASER INTERFERENCE TECHNIQUE TO DETONICS.

中国代表团 五名

部長

第五回国際食品科学工学会議

期 日 九月十七日から二十二日

開催場所 京都国立京都国際会館

主 催 日本国際食品科学工学連盟

会 長 満田久輝 京都大学名誉教授

組織委員長 藤巻正生 お茶の水女子大学教授

熔接学会第三回国際シンポジウム

期 日 九月二十六日から二十八日

開催場所 東京国立教育会館

主 催 熔接学会

実行委員長 飯田国広 東京大学教授

中国代表团 九名

新セラミックス国際会議

期 日 十月三日から六日

開催場所 神奈川県箱根観光ホテル

主 催 新セラミックス国際会議委員会

名誉会長 山内俊吉 東京工業大学名誉教授

組織委員長 齋藤進六 東京工業大学学

会 長 湯川秀樹

募金委員長 朝永振一郎

組織委員長 武田 暁 東北大学理学

第四回基層成長とエピタキシー国際会議

期 日 七月九日から十三日

開催場所 名古屋商工会議所

主 催 組織委員会

組織委員長 有住徹彌 電気通信大学教授

中国代表团は薄膜厚膜表面国際会議参加メンバー

第十三回高速度写真と画像計測国際会議

期 日 八月二十日から二十五日

開催場所 東京プリンスホテル

主 催 精機学会

会 長 奥島啓式 精機学会会長

第十九回高エネルギー物理学国際会議

期 日 八月二十三日から三十日

開催場所 東京京王プラザホテル

主 催 日本学術会議

会 長 日本物理学会

募金委員長 湯川秀樹

組織委員長 朝永振一郎

組織委員長 武田 暁 東北大学理学

中国代表团

江作昭清華大学教授、清華大学一名、中国科学院上海硅酸盐研究所二名、広東化学工業院一名、計五名

個人会員入会(二月二十日~六月三十日)

理学・上床国夫、大栗直毅(日本分析工業)

神山貞二(国際資源)、神戸博太郎(東京大学)、坂部貴和子(名古屋大学)

六(東京地学協会)、野田弘(地球科学研究所)、政池明(高工エネルギー物

理学研究所)、村山元信(習志野高校)、安盛岩雄(東京工業大学)、渡辺

清(鐘淵化学工業)

工学・石井孝雄、黒正清治(東京工業大学)

後藤淳(愛知工業大学)、高野安正(岡山理科大学)、砺波宏明(東京工業

大学)、早川和男(神戸大学)、林武志(品川白煉瓦)、柳本利彦(アサヒ

トレーディング)、鷺津久一郎(東京大学)

農業・阿部宗明(日本魚類学会)、金子賢一(北海道大学)、上遠恵子(植物化学

調節研究会)、小林達治(京都大学)

小林貞作(富山大学)、坂手栄(農林

省蚕糸試験場)、杉二郎(日本学術振興会)、鶴田新生(水産大学校)、西

田光夫(農林省果樹試験場)、橋本良材(亀田地域センター)、増田芳雄

(大阪市立大学)、渡部伸(羽茂高校)

医学・井上正吾(三重県福祉事業団)、亀谷了(目黒寄生虫館)、服部奨(山口大

学)、日高三郎(福岡歯科大学)、論孝一(論眼科医院)

一般・布施甲子郎(群馬友好貿易)(三三〇名)

賛助会員名簿(六月三十日現在)

株式会社亜東書店、伊藤忠商事株式会社、

泉自動車工業株式会社、株式会社加藤製作所

鐘淵化学工業株式会社、共同石油株式会社、

株式会社共和電業、株式会社極東商会、神戸

発動機株式会社、株式会社コカ・コーラ日本

総合研究所、国際石油株式会社、サントリ

株式会社、三友通商株式会社、品川白煉瓦株

式会社、新日本製鉄株式会社、千代田化工建

設株式会社、東芝タンガロイ株式会社、東洋

エンジニアリング株式会社、東陽貿易株式会

社、東洋綱鉄株式会社、東洋ゴム工業株式会

社、東レ株式会社、株式会社西島製作所、日

綿実業株式会社、日産化学工業株式会社、日

清製粉株式会社、株式会社日中旅行社、日本

化学工業協会、日本ギア工業株式会社、社団

法人日本港運協会、日本工営株式会社、日本

国際貿易促進協会京都総局、日本真空技術株

式会社、日本新薬株式会社、日本電気精器株

式会社、日本陶器株式会社、日本農産工業株

式会社、日本農業株式会社、日本油脂株式会

社、株式会社日本旅行開発、日本坩堝株式会

社、播磨耐火煉瓦株式会社、バンドー化学株

式会社、藤沢薬品工業株式会社中央研究所、

株式会社毎日放送、株式会社マツナ力通商、

三井造船株式会社、三菱鉱業セメント株式会

社、三菱商事株式会社、三菱自動車工業株式

会社、ヤンマー農機株式会社中央技術研究所

郵趣サービス社、株式会社読売新聞社、株式

会社リコー(五十四社)

訪中・東京工業大学三教授訪中団、四月

日本学術代表团、五月

読売新聞中国科学技術取材団

東京化学同人社

日本電子技術視察団

日本電子顕微鏡学者代表团、六月

東京大学農学部教授学術訪中団

早稲田大学教授代表团、七月

中国農業代表团、五月

中国トンネル技術訪日代表团

中国科学院加速器考察団、六月

中国科学院地震代表团、七月

科学技術往来消息